県水協たより

第41号
令和4年1月31日

発行／公益社団法人 山形県水質保全協会事務局
東根市大字野田695番地の8　TEL 0237-48-2469 FAX 0237-48-2693

新年のごあいさつ

公益社団法人　山形県水質保全協会　会長　片　桐　健　悦

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様、県並びに市町村等行政関係機関の皆様には、健やかに希望に満ちた新たな令和4年壬寅年（みづのえとらとし）をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より当協会の事業につきましては、格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

当協会は、平成2年8月に浄化槽の法定検査機関として、本県水環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与すべく、法定検査受検率の向上や各種研修会の開催等に努め、早いもので32年目を迎えます。

この間、浄化槽は生活排水処理施設の一翼を担うべく、県内全ての市町村において整備が進められ、県内の下水道や農業集落排水処理施設と合わせた、生活排水処理施設全体に占める割合は、令和2年度末で8.5%と徐々に増加してまいりました。

山形県では昨年3月に「第3次生活排水処理施設整備基本構想」の中間見直しを行い、浄化槽の普及率を令和7年度末までに9．3%にする目標を設定しました。

浄化槽の整備は過疎化による人口減少や空き家の問題などにより、設置基数の増加が一気に進まない等の課題もありますが、浄化槽は住居等が密集していない地域の人々の生活環境を豊かにし、地震や水害などの災害にも強く、コストや工事期間を考慮すれば未整備地区における早期整備の観点からも極めて有効な水処理施設ですので、この中間見直しにより浄化槽整備地区の拡大につながることを期待しております。

さて、新型コロナウイルスは昨年末よりオミクロン株による市中感染の報告が増えており油断できませんが、協会としてはこれまで以上に感染防止を徹底して参ります。

結びに、皆様にとりまして騎虎の勢いのごとく輝かしい一年となりますよう祈念申し上げますとともに、益々のご健勝とご発展を祈念致しまして、新年の挨拶といたします。

新年のごあいさつ

山形県知事　吉　村　美栄子

明けましておめでとうございます。

公益社団法人山形県水質保全協会並びに会員の皆様には、健やかに新しい年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大に見舞われ、県民生活や地域経済に大きな影響を及ぼしました。このような状況においても、貴協会におかれましては、様々な工夫をしていただきながら、浄化槽に関わる検査や維持管理はもとより、水を通した環境教育にも御尽力いただき、心から感謝申し上げる次第です。

さて、本県は、秀麗な山々や全国一の面積を誇るブナの天然林、母なる川「最上川」、日本一の数を誇る滝など、自然豊かな緑の郷であり、その緑が育む清らかな水に恵まれた郷でもあります。この清らかな水は、県民に安らぎをもたらすとともに心のよりどころになっており、本県のかけがえのない資産であり魅力でもあります。

このかけがえのない水環境を保全し、後世に引き継いでいくためには、浄化槽の適正な管理による排水の水質維持が大変重要です。令和４年度から、BODの浄化槽法定検査の新たな判定基準を適用することとしており、県としましては、市町村と連携し、浄化槽管理者等に対する指導に力を入れてまいりますので、皆様におかれましても、周知に御協力いただきますようお願いいたします。

また、県では、地域の人々に育まれてきた優れた湧水等を「里の名水・やまがた百選」として選定する事業を進めています。今年度までに66か所を選定しましたが、今後も新たな湧水の選定を進めることにより、水環境を大切にする心と郷土愛を育むとともに、YouTubeでの動画配信等を通して、山形県の良好できれいな環境を県内外に広く発信してまいります。

結びになりますが、令和４年が皆様にとりまして、健やかで喜びと希望に満ち溢れた素晴らしい一年となりますよう御祈念申し上げまして、新年のあいさつといたします。

水大気 YouTube
二次元コード

山形県浄化槽保守点検業者の登録に関する「浄化槽管理士指定研修会」の開催

令和３年 11 月 11 日（木）天童市「山形県総合運動公園　大会議室」において、「令和３年度浄化槽管理士指定研修会」を開催しました。

この研修会は、令和２年施行の改正浄化槽法に伴い山形県条例が改正され、浄化槽保守点検業者登録の際に、浄化槽保守点検業者が専任している浄化槽管理士に対して、県指定機関が開催する講習会を受けさせなければならない規定となり、８月に当協会は県から主催者の指定を受け、初めて研修会を開催することとなったものです。

当日は、「浄化槽・水処理技術管理研修会」を併せて開催し、「浄化槽管理士指定研修会」対象の浄化槽管理士及び浄化槽保守点検業の実務担当者、県・市町村職員担当者など 101 名の参加となりました。

コロナ禍での開催ということもあり、「浄化槽管理士指定研修会」において今回の研修が義務付けられている浄化槽管理士に対しては、来場しての受講又は、リモートでの受講のいずれかを選択できるよう配慮した形式をとりました。

また、当日は、受付で混み合わないよう動線を一方向としたり、手指消毒、マスク着用、検温を実施するとともに、席の間隔を通常よりも広くしたりするなど、感染対策を徹底いたしました。

研修は午後１時に開会され、当協会片桐会長による主催者挨拶を行った後、県水大気環境課長からご来賓挨拶をいただきました。

最初に、山形県環境エネルギー部水大気環境課の黒坂主事から、「浄化槽行政の動向」及び「山形県における浄化槽情報」について講演をいただきました。

次に、協会から「浄化槽法第 11 条検査から～所見内容の検証～」と題し、山形県では令和４年４月から法定検査に関する BOD 検査の不適正値が 160mg/L を超えた場合に変更されることから、新基準に変更した場合の不適正数が約33%増加するとの予測が示され、不適正内容の傾向、不具合のある浄化槽の改善方法などについて情報提供を行いました。

続いて、全国浄化槽推進市町村協議会の久川和彦事務局長から、「浄化槽の構造と機能」及び「保守点検と清掃」について、また、改正浄化槽法により示された「特定既存単独処理浄化槽に対する措置」について詳細に解説をいただきました。

午後４時の研修会終了後には浄化槽管理士に対し、研修修了証を交付いたしました。

片桐会長による主催者挨拶

県水大気環境課齊藤課長補佐による挨拶

黒坂主事による講演の様子

当協会からの情報提供の様子

久川事務局長による講演の様子

会場の様子

(一社)日本環境保全協会　北海道・東北ブロック協議会第27回総会(Webによる総会)

去る7月8日（木）に一般社団法人日本環境保全協会 北海道・東北ブロック協議会第27回総会を開催いたしました。

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況から青森県での開催を見合わせ、Web会議による総会を行いました。

事務局である当協会赤部常務理事の進行で、（一社）北海道環境保全協会の原田会長の開会挨拶に始まり、遠藤信幸協議会会長から挨拶をいただきました。

続いて、（一社）日本環境保全協会の山条忠文会長、同じく曽根川紀子専務理事からそれぞれご来賓挨拶を頂戴いたしました。

規定により遠藤協議会長が議長として審議に入り、下記の議案については原案どおり全て承認されました。

第1号議案　令和２年度事業報告及び収支決算について
第2号議案　令和３年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
第3号議案　任期満了による役員改選について

第3号議案の任期満了による役員の改選については、会長退任の申し出がなされた遠藤信幸氏（山形県）に代わり、原田利明氏（北海道）が選任され、副会長には鈴木文夫氏（宮城県）、片桐健悦氏（山形県）がそれぞれ選任されました。

また、会長県が北海道に代わることに伴い事務局を担うことになるため、監事については、青山武氏（山形県）を、また、退任の申し出がなされた遠瀬晃氏に代わり、同じく青森県の藤嶋崇氏が選任されました。

なお、し尿及び浄化槽汚泥の汲み取り料金に係る消費税軽減税率について、各地域の実情を報告するとともに情報共有を図りました。

（公社）宮城県生活環境事業協会の鈴木副会長の挨拶により総会を閉会いたしました。

リモートによる総会の様子

遠藤協議会長の挨拶

協会会場の様子

(一社)日本環境保全協会設立60周年記念表彰　（令和3年10月3日付け）

＜環境大臣表彰　団体の部＞

公益社団法人山形県水質保全協会

＜会長表彰＞

青　山　　豊 氏（公益社団法人山形県水質保全協会　第6代会長）

遠　藤　信　幸 氏（公益社団法人山形県水質保全協会　第7代会長）

美しい山形・最上川フォーラム（清流部会）参加 「身近な川や水辺の健康診断」への参加協力（青年部事業）

美しい山形・最上川フォーラムでは、誰でも参加できる身近な川や水路、沼など水辺の環境調査を県内各地で一斉に行っており、小・中学生からの依頼により水質調査のパックテスト並びに水生生物調査のサポートを当協会青年部中心に行っています。

今年度は天候にも恵まれ、６月の西川小学校からはじまり計４団体へ調査協力を行いました。長井小学校では４年生の３クラスについて日にちと時間を変え、教室で水質調査を行いました。なお、調査時はマスクを着用し、お互いの間隔を開けるなどの感染対策をとり指導を行いました。

暑い太陽の日差しの中、汗をかきながら川に入って自然を体験することで、地域の水環境に興味を持ってもらえたのではないかと思います。

No.	実施日	実施団体名（調査河川・地点）	参加人数
①	６月 17 日（木）	西川町立西川小学校　６年生（寒河江川）	34 人
②	７月　２日（金）	山形市立高瀬小学校　６年生（戸沢川、中沢川、村山高瀬川）	22 人
③	７月 21 日（水）	川西町立大塚小学校　４年生（元宿川）	18 人
④	７月 20（火）～ 21 日（水）	長井市立長井小学校　４年生　３クラス（最上川）	93 人

①西川町立西川小学校（６月 17 日）

②山形市立高瀬小学校（７月２日）

③川西町立大塚小学校（７月 21 日）

④長井市立長井小学校（７月 20～21 日）

浄化槽研究奨励・楠本賞（優秀課題）を初受賞

令和３年 10 月 19 日、当協会職員の斎藤智和が発表した「水質悪化の防止対策を踏まえた維持管理について」が、公益財団法人日本環境整備教育センターの浄化槽研究奨励・楠本賞（優秀課題）を受賞いたしました。

この楠本賞は、公益財団法人日本環境整備教育センターが創立者の楠本正康初代理事長の功績を記念し、浄化槽に係わる調査研究を奨励することを目的として創設されたもので、令和元年度の「全国浄化槽技術研究集会」において研究発表されたもののうちから優秀課題を選考したもので、当協会からは、初めての受賞となりました。

楠本賞を受賞して

総務係長兼分析係長　斎　藤　智　和

令和元年 10 月９日（水）、秋田県秋田市「秋田キャッスルホテル」で開催された第 33 回全国浄化槽技術研究集会で発表しました「水質悪化の防止対策を踏まえた維持管理について」が、浄化槽研究奨励・楠本賞の優秀課題に選考されました。栄えある賞を賜りましたことは私ひとりの力ではなく、上司や諸先輩のご指導、支えてくれた同僚の皆様のお陰と思っております。そして社員のことを思いやる協会の社風のおかげでもあります。本当に心から感謝申し上げます。

発表内容は、浄化槽維持管理に関し、水質悪化が認められた段階での改善作業ではなく、水質悪化を未然に防止するため　①嫌気ろ床槽、②処理水槽、③流量調整・循環・移送装置の３点を維持管理作業上のポイントとして位置付け、改善作業を検証するとともに、小型浄化槽のメーカー・型式を問わず通常維持管理に組み込むためのフロー化を検討したものです。

調査結果から維持管理作業の現状は、水質が悪化した状態から改善作業（リカバリー）を行っているケースが多いことと、先ほどの３点についての作業が適切に実施されていないことが分かりました。

そこで、当協会の調査研究で効果が実証されている、①嫌気ろ床槽のガス抜き、②処理水槽・沈殿槽の底部汚泥とスカム除去に加えて、③循環水量を 3Q に設定、の以上３点を維持管理作業上のポイントとして位置付けて検証した結果、９施設すべてで水質が安定する結果となりました。

最終的には、浄化槽本来の目的である水質の安定化を通常の維持管理に組み込むための標準作業ルーチンとした「定型化した維持管理作業」のフローを考案し、水質悪化防止策としてまとめました。

今回いただいた賞を励みとし、こつこつと日々業務に精進していきたいと思います。今後ともご指導賜りたく、宜しくお願い申し上げます。

令和3年度　第4回理事会を開催

第４回理事会を 10 月 28 日（木）午前 10 時 30 分から、協会会議室にて開催しました。

事務局による開会の後、片桐会長が、「当協会の上部組織であります一般社団法人日本環境保全協会設立 60 周年記念環境大臣表彰を受賞することになりました。これまで、県水協では平成 13 年度と平成 23 年度の過去２回受賞しており、今回で３回目の受賞となりました。関係各位に対し改めてお礼を申し上げます」と挨拶を行いました。

議案については以下のとおりで全て承認され、午前 11 時 45 分に終了しました。

第１号　令和３年度上半期事業報告
第２号　令和３年度上半期収支状況報告
第３号　会員の入退会（変更）について（第１号議案）
第４号　特定費用準備資金について

令和３年度　市町村浄化槽行政担当者会議が開催されました

山形県水大気環境課主催による標記の会議が、８月３日及び５日の両日に地域を分けて開催されました。

例年、県及び市町村の浄化槽担当課、指定検査機関を対象として、浄化槽設置に係る補助制度や手続き等に関しての説明などを中心に開催されているもので、昨年度同様、ZOOM を使用したオンラインによる Web 会議となりました。

県から浄化槽整備事業などの説明があった後、当協会の斎藤智和総務係長が「不適正の事例と浄化槽の修繕工事及び水質改善方法」について、実際の作業動画を用いて解説をいたしました。また、協会からの質問事項として「特定既存単独処理浄化槽の対する措置」「浄化槽の使用の休止及び義務の免除」「地下浸透装置の陥没･崩落」について取り上げ、県や市町村と意見交換を行いました。

職員研修会を行いました

安全運転に対する知識や意識を高めることを目的に職員を対象とした「交通安全運転講習会」を、10 月６日に協会会議室で開催しました。

第一部は昨年度に引き続き、ユニバーサルリスクソリューション㈱　大川雅隆研究員を講師に迎え、職員のドライブレコーダー記録映像を解析した結果について診断をしていただきました。続いて、小野義彦上席調査員からは、「自然災害に備えて＜水害・車両編＞」と題し、大雨のため車両が浸水した場合を想定し、車両が冠水路を走り切れるか、水深何㎝までドアは開くのか、などの危険予知に関する動画を紹介するとともに、車の構造と損害の関係について説明がありました。

第二部は、山形県村山警察署　押切貴大交通課長を講師として、交通事故の発生傾向や横断歩道の運転、山形県警の交通情報を含めたメール配信システムの活用について、講演をいただきました。

大川研究員の講演の様子

押切交通課長の講演の様子

会場の様子

浄化槽新規設置者講習会の中止

新型コロナウイルス感染拡大により、浄化槽の新規設置者を対象とした研修会を中止いたしました。

開催を予定しておりました市町村の浄化槽設置者に対しては、浄化槽維持管理の必要性や浄化槽管理者としての責務についての啓蒙を図るため、講習会資料一式を送付いたしました。

山形県知事表彰

令和３年度保健衛生関係功労者山形県知事表彰を受賞されましたのでご紹介いたします。
令和3年11月25日、山形県庁2階講堂にて表彰式が執り行われました。

青　山　　武 氏（環清工業㈱）（公益社団法人山形県水質保全協会副会長）

齋　藤　和　雄 氏（公益社団法人山形県水質保全協会　職員）

協会からのお知らせ

	会員区分	氏　名	事業所名	住　所
新規入会	賛助会員	小　川　　尚	㈱カンツール	東京都中央区日本橋小伝馬町１－３
	賛助会員	肥　田　　武	㈱モリタエコノス仙台支店	仙台市宮城野区扇町１丁目６番34号
	賛助会員	北　村　勝　美	西東北日野自動車㈱	山形市立谷川３丁目3553番地１
	賛助会員	吉　泉　光　善	山形いすゞ自動車㈱	山形市成沢西５丁目１番５号
	賛助会員	二　井　正　裕	新明和工業㈱東北支店	仙台市宮城野区扇町２丁目３－16

	会員区分	新旧	氏　名	事業所名	住　所
変更	正会員	新	黒　田　利　夫	㈱エヌイーエス コーポレーション	山形市大字片谷地字下川原田959－１
		旧	黒　田　美喜男		

お悔やみ申しあげます

令和３年９月21日　　有限会社　東根清掃　駒澤　久由　様（当協会元会員）

新規採用職員の紹介

検査課 **髙　橋　佑　二**

令和3年11月1日よりお世話になっております、髙橋佑二と申します。分からないことばかりですが、先輩方の指導の下に一日も早く当協会のお役に立てる様に精一杯頑張りたいと思います。私には３人の子供がいて休日は公園で野球やバドミントンをして子供達と遊んで楽しんでいます。まずは資格の取得に全力で取り組んでいきたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。

編集後記

季節の変わり目である節分に、邪気を払い無病息災を願う豆まきですが、最近は恵方巻きも人気がありますね。今年は「北北西」を向き、願い事を思い浮かべながら黙って食べると良いそうです。先が見えず長引くコロナ禍ではありますが、今も昔も、一年を穏やかに健康で過ごしたいという思いは変わらないものです。